

第 65 回 宮崎県保育事業研究大会開催要綱

● 大会主題 ●

すべての人が
子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現をめざして

1. 趣 旨

宮崎県保育事業研究大会は回を重ね、今年は第 65 回目を迎えます。

平成 27 年 4 月に子ども・子育て支援新制度が施行され、3 年目が過ぎようとしています。そのような中で、国は待機児童対策として 32 万人の受け皿整備を進める中、幼児教育無償化の政策に取り組み始めました。財源としては、消費税増税分の使途見直し等で捻出する予定です。しかしながら、無償化により大都市等では更に待機児童が増える可能性もあり、過疎地域では子どもの減少により施設運営にも影響が出始めています。

また、保育士・保育教諭不足も以前にもまして売り手市場の状況で、行政間の財政格差から、都市部への保育士・保育教諭の流出、潜在保育士の復帰も上手く進んでおらず、全国で人材確保に大きな影響が出ています。

そして、今年度から実施された『キャリアアップ制度』は研修体制が整わず、職員の質の向上と処遇改善には更なる仕組みの構築が必要です。

しかしながら、少子高齢化・地域格差は急激なスピードで進行しており、この社会変化の中で子ども達の成育環境や保護者の子育て環境が変わる中、我々に求められるニーズも多岐にわたってきております。この様な社会情勢の変化に対応するために、保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領が平成 30 年度より改定されます。

子ども達や保護者と関わる私たちにとって「質の向上」は最重要課題です。宮崎県保育連盟連合会では、子どもの最善の利益の保証に向けた取り組みや保護者・地域の福祉ニーズに対応した事業をそれぞれの施設が実施できるよう、現状の保育事業の研究を深め、養護と教育の実践の更なる向上を目指すことを目的として、本大会を開催いたします。

- 2. 主 催 一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会
- 3. 後 援 宮崎県・宮崎市・社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会（予定）
- 4. 期 日 平成 30 年 2 月 23 日（金）
- 5. 会 場 宮崎観光ホテル 宮崎市松山 1 丁目 1 番 1 号（TEL：0985-27-1212）
- 6. 費 用

(1) 次の費用は参加者の負担といたします。

参加費（資料代）：会員施設・3,000 円 ・非会員施設・5,000 円

養成校職員：2,000 円・学生：1,000 円

昼食代：1,000 円（お弁当・お茶付）

※ 記念講演のみ参加の場合でも、参加費用は同金額です。

- (2) 意見発表者・助言者については参加費及び昼食代は免除します。なお、被表彰者及びその他の役員・係員については、参加費及び昼食代が必要となりますのでご注意ください。

7. 日程及び大会内容

(1) 日程

	9	10	30	11	12	13	14	15	16
2/23 (金)		受 付	式 典	記念講演	昼 食		分 科 会		

(2) 日程及び内容

9:00 ~ 10:00 受 付

10:00 ~ 10:30 式 典

10:30 ~ 12:00 記念講演

演 題：「心やさしき名もなき英雄を育てたい」

講 師：宮崎県立美術館 館長 飛田 洋（とびた・ひろし）氏

✿ プロフィール ✿

1952 年生まれ、新富町出身。鹿児島大学理学部卒業。山之口中学校、高原畜産高校、宮崎西高校、小林高校で理科（生物）の教師として勤務。

以後、県教育研修センター、宮崎県教育庁学校教育課・学校政策課、宮崎大宮高校校長、教育次長などを経て、2012 年宮崎県教育委員会教育長に就任。

2016 年 4 月より現職。「美術・音楽・映画鑑賞、観劇、読書、山登り… …」と趣味多彩。常々、ラグビーの試合みたいな人生を送りたいと考えている。横を見回し、仲間とパスを交換しながら、みんなで果敢にトライに挑戦する。チームワークとチャレンジ精神を忘れない。そんな仕事のやり方、人生が理想。

好きな言葉は『咲いた花見て喜ぶならば 咲かせた根っこの恩を知れ』

12:00 ~ 13:00 昼 食

13:00 ~ 16:00 分科会

8. 分科会テーマ及び研究課題

全国保育協議会の将来ビジョンの構成にそって、本大会の分科会テーマを設定していますが、九保大会へ進む分科会（第 5・第 6・第 7）と特別分科会（保育士部）の 4 つの分科会で開催します。

◆ 分科会の方法について

座長を中心に分科会のスタイルに合わせたタイムスケジュールにて開催いたします。

【 カテゴリー2 】 子育てライフを支援する

子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。保育所・認定こども園等は、多様化する働き方と子育て家庭のニーズに応えるための機能を充実し、子育て支援の拠点として、すべての子育て家庭を対象とした支援を展開します。

第 1 分科会 (九州・全国大会では第 5 分科会)

家庭や地域との連携による食育の推進

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。そして食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要となります。

さらに保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をとおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

■ 担 当 部 : 給食部

■ 意見発表者 : 西都市 (公立)

■ " 都城市 (法人)

■ 助 言 者 : 長友 多恵子 氏 (南九州大学健康栄養学部 管理栄養学科 講師)

【 カテゴリー3 】 多様な連携と協働をつくる

子育て不安や児童虐待への対応等、子どもと子育て家庭への支援は、地域社会を基盤として多面的に取り組みを充実していくことが大切です。保育所・認定こども園等は、さまざまな機関・組織・団体や住民が連携・協働して地域の保育機能を高めるための中心的存在として、役割を果たします。

第 2 分科会 (九州・全国大会では第 6 分科会)

子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

また、新制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画 (都道府県においては子ども・子育て支援事業支援計画)」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

■ 担 当 部 : 人権保育推進部

■ 意見発表者 : 小林市

■ // 宮崎市

■ 助 言 者 : 廣川 真美 氏

(NPO 法人 MC サポートセンターみっくみえ 司法面接士)

【 カテゴリー4 】 子育て文化を育む

子どもを対象とした犯罪や虐待の増加など、子どもたちをめぐる深刻な課題が増えています。次世代を創造する子どもをかけがえのない存在として愛しみ、価値を認め、子どもや子育てに多くの人に関心を持ち、私たちの未来を創造していく子どもたちを社会全体で育てていく子育て文化を、保育所・認定こども園等が拠点となって地域社会に発信していきます。

第 3 分科会 (九州・全国大会では第 7 分科会)

保育の社会化にむけて ~保育の営みをいかに社会に発信するか~

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて、研究を深めます。

■ 担 当 部 : 子育て支援部

■ 意見発表者 : 宮崎市

■ // 日南市

■ 助 言 者 : 小澤 のり子 氏 (おやこの森 施設長)

【 特別分科会 】 配慮を要する子どもの家庭への支援 = 適切な理解 → 適切な支援 =

保育所・認定こども園等では、発達障害など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。また保護者自身が生活面など何らかの課題を持ち、子育てに困難が生じるケースも増えています。

本テーマでは、こうした子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としてのかかわり方、あるいは保育者としていかに寄り添い、支援をおこなうべきかについて、研究を深めます。

■ 担 当 部 : 保育士部

■ 助 言 者 : あだち あきひこ 氏 (こころの相談室 代表)

国立学校、公立学校の国語の教員を経て 熊本大学特別専攻科において「子どもの発達と脳」について学ぶ中、大脳生理学と出会い「脳科学人間理解探求」へと進む。
その後、多様なケースへの療育相談・教育相談 また 教師や保育士への指導カウンセリングの傍ら、県内、県外で 年間100回以上の講演会や研修講座をおこなってきた。
2006年4月 宮崎県教委よりスーパーティーチャーの委嘱を受け 9年間活動。
2014年5月 Brain-Mental Laboratory を主宰。
2015年4月 Brain-Mental Laboratory こころの相談室 を開設 現在 代表/室長を務める。

9. ポスター発表

会場のロビーにてポスター発表を行います。

新しい指針・要領の求める保育指導計画と保育環境の提供について

今般改定された保育指針・幼稚園教育要領等で示された、資質・能力の3つの柱に応える保育指導計画とそれを踏まえた保育環境の提供について、カリキュラムマネジメントの新しい潮流、「育ちに必要な3つの柱を保証するカリキュラムマネジメントとは」、「新しいカリキュラムに相応しい保育環境の提案」、「協同の学びの進め方とそれにふさわしい記録作成への取り組み」、「子どもの主体性を保証する表現活動とリテラシーの提供」をキーワードに、これまで行われてきたあり方等との違いを明確にしつつ考察します。

■ 施設名 : 幼保連携型認定こども園 のぞみ保育園

■ 発表者 : 園長 原田 秀幸

※ 詳細は未定ですが他1件、ポスター発表を行う予定です。

10. 参加者の範囲

(1) 宮崎県保育連盟連合会会員施設長が次の範囲から推薦した者

- ① 保育園(所)・認定こども園の設置者・施設長及び職員
- ② 小規模保育所・児童館の施設長及び職員
- ③ 保護者 等

(2) 県・市町村の保育行政関係職員

(3) 保育士養成校の職員及び学生 等

11. 顕 彰

顕彰は、顕彰規程に基づき、宮崎県保育連盟連合会理事長が式典において行います。
各施設長は、別添推薦書を平成30年1月26日(金)までに大会事務局に提出してください。(推薦者印が必要です。郵送でお願いします。FAX 不可)

なお、表彰決定通知書は被表彰者所属施設にお送りいたしますので、ご了承ください。

12. 参加申込み

(1) 参加申し込みにあたっては、FAX または郵送にて下記 『名鉄観光サービス(株)』

宮崎支店』宛てにお申し込みください。

※ 役員（発表者含む）・係員においても参加申込みが必要となります。

《参加申込書送付先》

名鉄観光サービス（株）宮崎支店（担当：安達・谷口）

〒 880-0001 宮崎市橘通西 2 丁目 4 番 20 号 アクサ宮崎ビル

TEL : 0985-26-1414 ・ FAX : 0985-20-7355

* 申込締切: 第一次 平成 30 年 1 月 31 日 (水) ・ 第二次 平成 30 年 2 月 14 日 (水)

(2) 参加申込書を提出された方で、平成 30 年 2 月 14 日（水）以後に参加を取り消される方の参加費等については、徴収させていただきます。

なお、資料は後日、事務局より大会資料を送付させていただきます。キャンセルの場合は、トラブルの原因となりますので FAX にてお知らせください。

(3) 参加申込をいただいた保育園（所）長あてに、名鉄観光サービスより後日申込受付承諾の FAX を送付いたします。ご確認のうえ、必ず参加者にお伝えください。

*** 県保大会では、参加券等の発行はございません。**

(4) 昼食希望の方は申込書により予め注文してください。なお、研修当日のキャンセル等変更はできませんのでご了承ください。（弁当：1,000 円）

弁当代について、何らかの事情で振込みができない方は当日お支払いください。

(5) 参加費等につきましては、平成 30 年 2 月 14 日（水）までに下記の口座へ別添の振込用紙にてご送金ください。

※ 銀行振込控をもって領収とさせていただきます。

※ 別途領収書の必要な場合は申込書の備考欄にご記入ください。当日お渡しいたします。

※ 振込手数料は各自ご負担となりますので、ご了承ください。

金融機関名	： 宮崎銀行	宮崎支店
預金種別	： 普通預金	
口座番号	： 1575568	
口座名義	： 名鉄観光サービス株式会社	宮崎支店

● 振込用紙記入について

* ご依頼人は、施設名と市町村名をご記入ください。（例 ○○保育園 宮崎市）

13. その他

● ポスター発表申込みの方は、募集要領に従って準備してください。

● 駐車場が大変混み合います。車を利用される方は、大会会場にはできる限り相乗りでお越しいただく等、ご協力をお願い申し上げます。

14. 事務局

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会

〒880-0007 宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター内

TEL : 0985-28-5835 ・ FAX : 0985-28-5989

E-mail : office@m-hoiku.or.jp